



カワセミ通信



NO.2



発行：彩湖自然学習センター

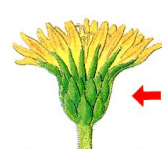
発行日：H. 21. 6. 8

～自然界のバランスを保つことの大切さ～

生き物たちはそれぞれの地域で、長い期間をかけて食う・食われるといったことを繰り返し、微妙なバランスを保ちながら生きています。これを「生態系」といいます。しかし、外から他の生き物が侵入してくると、もともとそこにいた生き物の居場所を奪ったり、食べ物の取り合いをしたり、捕食したりして本来ある生態系のバランスを乱してしまうことがあります。このような問題を解決するために、「外来生物法」という法律が2004年にできました。特に生態系に大きな影響を及ぼす148種類の外来生物を「特定外来生物」として指定しています。例えば、彩湖で見られる、ウシガエル、オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギルがそうです。これらの生物を野外に放したり、飼育や輸入などをすると個人の場合、最高で懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金を課されることになるそうです。「特定」には指定されていませんが、外来生物は意外と身近にいます。シロツメクサやセイヨウタンポポ、アメリカザリガニなど、日本の野外に生息する外来生物の数はわかっているだけでも約2000種にもなります。

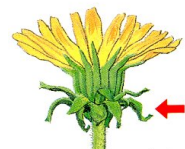
外来生物は「厄介者」として扱われていますが、自らの意志ではなく、その多くが人間の手で運び込まれたものです。もともと住んでいた場所では生態系のバランスを保つために重要な役割を果たしていたのかもしれませんが、しかし、住む環境が変わったことで彼らは生きるために日本の在来生物を捕食したり、生息範囲を広げていかなければならなくなってしまったのです。

私たち人間は、食べ物や生活するために必要な材料など、多くのものを自然からもらっています。自然の中のつながりに支えられて生きています。私たちが安心して暮らすためにも自然の中の様々な生き物を守っていくことが大切です。難しいことはありません。むやみに野草をとったり傷つけない。外国から持ち込まれた動物をペットとして飼う場合は、最後まで面倒を見て、決して野外に放さない。野生動物にエサを与えない。など、私たちにできることはたくさんあります。



カントウタンポポ

(在来種)



セイヨウタンポポ

(外来種)

学校や家の近くではどちらが多いか調べてみてください。

講座報告

「食べられる野草」

毎年大好評のこの講座。今年は、4月26日に実施し、50人の方にご参加いただきました。講師の先生から野原を歩きながらの野草の説明会の後は、お楽しみの試食！彩湖の周辺でよく見られる野草6種の天ぷらを、繊細な味の違いがわかるよう、塩味でいただきました。ほんのり苦みのあるタンポポの花、風味豊かなヨモギの若葉、蜜の甘みが味わえるシロツメクサの花など、普段目にしていない野草の意外なおいしさに驚きの声も聞こえました。春の味覚を堪能したひとときでした。



当日のお品書き

天ぷら・・・ヨモギ(若葉)、クズ(新芽)、カラスノエンドウ(新芽)、
スズメノエンドウ(新芽)、タンポポ(花)、シロツメクサ(花)
箸休め・・・イタドリ(若い茎) お茶・・・ハッカのハーブティー、スギナ茶

季節の生き物

ハンゲショウ(半夏生)



ミニ彩湖の北側の木道の傍らに、葉の半面が白い植物がたくさん見られます。白い花の穂をつけています。この植物がハンゲショウというドクダミ科の植物です。

名前の由来は、半夏生(はんげしょう)の頃(夏至から11日目で7月2日頃にあたり、農家では田植えを終える頃となる。)に白い葉が出るからとも、葉の半面が白く化粧したようであるからとも言われています。

葉の半面が白くなるのは、どうやら昆虫を誘うためらしいです。そして臭気もあるので受粉が効率よく行われ、どんどん増える植物です。葉が白くなるのは、6月下旬から7月にかけてです。センターにご来館の際には、ぜひ観察してください。

お知らせ (7月の講座)

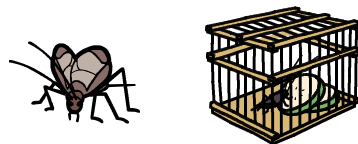
7/12(日) **生きものを育てよう** ※雨天実施

「スズムシの配布」 先着100家族

スズムシを育てて、夏の夜を楽しみましょう。季節感たっぷりの生きものを育ててみましょう。

持ち物:土を入れた飼育箱 参加費:無料

時間:13:30~



7/21日(火)・24日(金) **こども自然観察教室** ※雨天実施

「魚の壁掛けをつくろう」 対象:小・中学生 定員:25名

紙粘土で、魚の壁掛けを作ります。1階の水槽で荒川にすむ魚を観察した後、紙粘土で形を作り、色を塗り壁掛けを完成させます。毎年素敵な作品が仕上がっていますよ。

2日間とも参加できる方が条件です。

持ち物:1日目…筆記用具 参加費:100円(材料費)

2日目…筆記用具、絵の具、水入れ、作品を入れる袋(ビニール袋など)

時間:10:00~12:00



○申込方法:彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)
なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。

多数の参加をお待ちしています!!

4月から彩湖自然学習センターホームページを少しずつリニューアルしています。新コーナー「センター日誌」では旬の情報を発信しています。
まだアクセスしていない方は、ぜひ一度ご覧ください。

彩湖自然学習センター

検索



センターの
ホームページ
を見てね!

戸田市立図書館・郷土博物館分館彩湖自然学習センター
〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地
TEL:048-422-9991 FAX048-422-9993
URL:<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>
E-mail:kyo-saiko@city.toda.saitama.jp